

前方散乱方式視程計 SE-SWS-200

Biral SWS-200 視程計は前方散乱方式により雨、霧、吹雪などの影響による視程距離の減衰変化量を測定します。測定範囲（MOR）10m～20km（標準）の他、最大 75km までの MOR に対応します。世界中の公的機関で採用されている WMO（世界気象機関）及び ICAO（国際民間航空機関）準拠の高精度、高信頼性の視程計です。データ出力は RS232、RS422 と RS485 とアナログ出力が可能です。EXCO 減衰係数、WMO の現在天気コード（4680）を出力します。またオプションで RVR 滑走路視距離の測定が可能です。



特長

- 前方散乱式
- 測定距離の延長可能
- 多用途に対応（航空関連、道路状況等）

センサー	型式 SE-SWS-200
視程計測範囲（MOR）	10m～20km(標準) 10m～10km、10m～32km、10m～50km、10m～75km（注文時選択）
計測域	39°～51° 前方散乱
分解能	1m または 10m（標準）
視程計測精度	MOR～10km
降水分解能	0.015mm/h
降雪分解能	0.0015mm/h
最大降水量	500mm/h
出力インターバル	10～300 秒
デジタル出力	RS232、RS422・RS485
アナログ出力(視程 MOR)	0～10V（オプション：0～20mA または 4～20mA）
動作電源	9～36VDC
フードヒーター電源	24V AC/DC
消費電力	3.5W 通常 36W ヒーターON
寸法/重量	0.81m/4.0kg
オプション	RVR（滑走路視距離）部品、キャリブレーションキット、センサー収納箱、電源アダプター、電源ケーブル、信号ケーブル

Senecom, Inc



Senecom

株式会社 セネコム

〒332-0032 川口市中青木 1-1-25 小林合同会計ビル 1F

TEL: 048-242-0770

FAX: 048-242-0771

info@senecom.co.jp

http://www.senecom.co.jp